

名前：

私は、新聞や雑誌は必要だと考へる。しかし、社会の情報化が進み、インターネットの様となつてくると、新聞や雑誌の持つ存在意義は小さくないためだ。インターネットのニュースと比較して、新聞・雑誌の長所と短所をあげてみる。

まず、新聞や雑誌には、構成上「たまたま興味深い記事を見つけた」といふことが可能である。例えば、何気なくページをめくると、「カバクラインローション問題」の解説記事が載つていたりする。ふだんは関心もなく読み飛ばす経済面だが、「ふだん」がニュースで占められていたところに、「たまたま」の気持ちで読むと、理解が深まることもあるだろう。対してインターネットは、基本的に自分の興味がある記事を読み取る形となり、思わぬ形でその話題の底が、けろけろとくさる。ここが、一番大衆を悩ませる点だろう。また、特に雑誌など、独自の取材ルート・ノウハウも

の綿密な取材を以て、人にとって、「トハニ」として見るか否かで、その価値、意義が変わってくる。

とはい、とも、新聞は発行部数を減らし、雑誌は売上行きも減少傾向になり、廃刊になるものもある。この背景には、やはりインターネットのニュースを手軽に見ることができるといふ点、たまたま見つけたのは確実だろう。インターネットでは「無料」でニュースが見られ、携帯などで「いつでもどこでも」情報を入力することができ、さらに動画配信や市民参加型のニュースHPなど、新たなニュースの受け取り方に大きく変化した。その点、一方で、持ち運びの必要があり、ニュースの伝え方にも限界がある紙媒体が押し込まれるのは仕方のないだろう。

以上、新聞・雑誌の長所・短所を述べた。それを踏まえてインターネットは優れているが、紙媒体ならではの意義もあることも事実だ。「これだけあればいい」という短絡的思考で

1800字

名前:

電歩水木がよいと思う。